

6. 地域振興（八幡）

個性あふれる地域づくりを推進するまち

方 針	（１）「郡上八幡」ブランドを活かしたまちづくりを推進します	
現状と課題	○「郡上八幡」という名称が全国的に知られるようになり、観光客が増加しています。	
	○市街地の空き家や駐車場が増加し、町並みの維持が困難になっています。	
	○「郡上おどり」以外の魅力的な地域資源を十分活かしたまちづくりを進める必要があります。	
	○これまで大切に引き継がれてきた「郡上おどり」を後世に継承する必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①地域資源の掘り起こしを進めます	
	歴史的な町並みをはじめ、これまで大切にされてきた水環境などを検証し、新たな地域資源の掘り起こしを進めるとともに、市民と協働で水を活かしたまちづくりを推進します。	都市住宅課 企画課 観光課 農務水産課 社会教育課
	空き家を核施設として観光拠点に位置づけ、特産品の販売を行うなど、新たな顧客獲得と雇用の創出を目指します。	都市住宅課 企画課 商工課 観光課
	②「郡上おどり」を継承する取り組みを進めます	
	「郡上おどり」を継承するため、ジュニアクラブや各地域のおはやしクラブの組織の支援を行います。	観光課 学校教育課 社会教育課
	③歴史的な町並みを検証し、その活用を図ります	
	町家等の歴史的建造物を含めた町並みについて検証し、保存・活用を図ります。	都市住宅課 観光課 社会教育課
	有形・無形文化財の保存や活用を図りながら、魅力的な観光動線づくりを行います。	都市住宅課 観光課 企画課 社会教育課
協働で取り組む事項	○市街地の町並みについて理解を深め、その維持に努めます。	

6. 地域振興（八幡）

方 針	（２）中心市街地の空洞化を防ぎ、賑わいのあるまちづくりを推進します	
現状と課題	○中心市街地では、空き家が目立つなど空洞化しています。	
	○市街地においても人口の減少により、地域の担い手が少なくなっています。	
	○観光客の増加により、市街地に居住する市民の生活と観光客の関わりなどについて配慮が必要になっています。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①市民生活と観光の調和のとれたまちづくりを進めます	
	これまでに形成された郡上八幡のまちづくりを検証し、都市計画マスタープランの見直しを行います。	都市住宅課
	電線の地中化など、景観に配慮したまちづくりを進めます。	都市住宅課 社会教育課
	市外からの進入車両に対する適切な誘導措置などにより、市街地の交通対策を進めます。	都市住宅課 観光課 企画課
	②空き家を活用したまちづくりを進めます	
	空き家・空き店舗の修繕に対する支援を行い、歴史的景観の保全と商店街の活性化を図ります。	商工課
協働で取り組む事項	空き家・空き店舗を活用して地域づくりを行う団体に対して支援を行います。	都市住宅課 企画課 商工課
	空き家情報をインターネット等で提供し、空き家を活用しやすい環境を整えます。	商工課 企画課
○空き家を活用しやすい環境を整えます。		

6. 地域振興（八幡）

方 針	（３）コミュニティの場づくりなど、高齢者にやさしいまちづくりを進めます	
現状と課題	○少子化・若者の流出等により人口が減少しています。	
	○一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加しています。	
	○地域での見守り活動は行われていますが、見守る側も高齢者になっています。	
	○地域の伝統的な行事を続けることが困難になりつつあり、子どもや若者が高齢者と交流する場が減少しています。	
	○高齢者が気軽に集えるコミュニティの場が減少しています。	
施 策 及び 基本計画 事 業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①高齢者が気軽に集えるコミュニティづくりを推進します	
	空き家等を活用して、小規模でも市民であれば誰でも利用でき、高齢者が気軽に集えるコミュニティの場づくりを推進します。	高齢福祉課 社会教育課
	②高齢者が暮らしやすいまちづくりを推進します	
	公民館活動などを通じて、高齢者が長い経験の中で培ってきた知識や知恵、技術を伝える機会をつくります。	高齢福祉課 社会教育課
	自治会長や地区長、福祉関係者、地域住民が連携して、地域ぐるみで高齢者を見守る仕組みづくりを推進します。	総務課 企画課 高齢福祉課 社会福祉課
協働で取り組む事項	○高齢者が気軽に集えるサロンを各地で展開します。	

6. 地域振興（大和）

個性あふれる地域づくりを推進するまち

方 針	(1) 歴史豊かな「古今伝授の里 郡上大和」の文化を全国へ発信します	
現状と課題	○大和地域は中世の領主東氏の拠点で、第九代東常縁は古今和歌集の奥義を連歌師宗祇に授けて「古今伝授の祖」と言われており、東氏ゆかりの文化財が多く残っています。	
	○歴史と文化を活かして「古今伝授の里づくり」と称した地域づくりが約20年間に亘り続けられてきました。	
	○「古今伝授」関連施設への来客数は一時ほど伸びておらず、訪れる方も多くが短歌等の愛好者です。	
	○古今植物園や山野草を楽しめる散策路、牡丹園などの環境が整いつつあります。	
	○短歌大会、新能「くるす桜」、文楽、コンサートなど様々なイベントを行っていますが、年々イベントへの入込客数が減少しています。	
	○フィールドミュージアムの文化的ポテンシャルは非常に高く、周囲の景観的価値は年々高まっていますが、入込客数は減少しています。	
施 策 及び 基本計画 事 業	施 策 基本計画事業	担当課
	①「古今伝授の里づくり」を継承・推進します	
	全国短歌大会の開催や短歌図書館大和文庫の運営を行うなど歌の情報発信基地化を推進するとともに、歌に親しむ人づくりを行います。	フィールドミュージアム 地域教育課
	東氏記念館等の施設と周辺の景観を整備し、歌心誘う美しい風景づくりを行います。	フィールドミュージアム
	文化振興によって生まれる交流を基に、地域活性化を目指します。	フィールドミュージアム 振興課 商工課 観光課
	②文化的イベントを継承・推進します	
	フィールドミュージアムのPR活動をさらに強化し進めます。	フィールドミュージアム 振興課 観光課
	国文学、歴史関係の大学生を対象とした滞在型勉強会を行います。	フィールドミュージアム 振興課 観光課
	新能「くるす桜」等の文化的イベントを行う後継者を育成します。	フィールドミュージアム 振興課
	③景観的価値を高め、花による集客を進めます	
	古今和歌集にちなんだ山野草、牡丹などの育成を行い「古今植物園」を魅力ある施設にします。	フィールドミュージアム 振興課
	四季折々に咲く花にちなんだイベントを行うなど観光客の集客を行います。	フィールドミュージアム 振興課 観光課
協働で取り 組む事項	○文化的イベントを継続実施していきます。また、イベントを実施する団体の後継者を育成します。	
	○牡丹など花の維持管理を、地元ボランティア、三セク、観光協会などとともに進めていきます。	

6. 地域振興（大和）

方 針	（２）産業構造の転換と新たな雇用の場の開発を支援します	
現状と課題	○「古今伝授の里」として個性を発揮し情報発信することで、年間 100 万人の人々が訪れるようになりました。	
	○「フィールドミュージアム」「やまと温泉」「道の駅」などの施設ができたことにより、調理・サービス・店舗販売・商品開発など新たな雇用の場が生まれました。	
	○「母袋燻り豆腐」「郡上大和の鶏ちゃん」「郡上のどぶろく」など特産物は数多くできつつあります。	
	○商品や生産物等の販売ルートが市内に限られているため、生産量が少ない状況です。	
	○濁酒特区に認定されたことにより、地元で濁酒も生産され、これを契機に全国から優良な濁酒を集め「どぶろくまつり」を開催しています。	
	○「朝市」では地元で生産された商品が順調に売上を伸ばし、農家の収入源の 1 つとして確立されています。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①「古今伝授の里づくり」という基本理念を基に域内の経済波及効果を高めます	
	官民協働で「郡上のどぶろく」等新たな商品開発と生産加工システムづくり、販売方法の検討、営業力の強化、PR 活動等を推進します。	振興課 商工課
	交流人口を活かした事業を推進し支援することで、新たな雇用の場の開発や域内での経済波及効果をより高めます。	振興課 商工課
	②ストーリー（物語）性のある商品開発を推進します	
	「母袋燻り豆腐」や「郡上大和の鶏ちゃん」等、歴史文化を取り入れた商品、地域資源を活かした商品を「郡上ブランド」「地域ブランド」として確立します。	振興課 商工課
	ジビエ料理等ストーリー性を組んだ商品開発を推進します。	振興課 商工課
	ストーリー性を組んだ商品による広報活動と、官民協働による営業活動により交流人口を増やします。	振興課 商工課
	③濁酒特区や朝市を利用した地域振興を推進します	
	濁酒製造所増加の推進と濁酒に合う料理をPRし、「いつでも濁酒が飲める町」として観光客を誘致します。	振興課 商工課 観光課 農務水産課
	朝市の更なる発展を図るため、商品の拡大と増産、後継者の育成を図ります。	振興課 農務水産課
協働で取り組む事項	○モノづくりから販売までの、情報収集・商品開発・生産加工システムづくり・販売方法の検討・営業力の強化・PR 活動等を行い、新たな雇用の場の開発などを行います。	
	○「郡上ブランド」「地域ブランド」を確立します。また、「いつでも濁酒が飲める町」として観光協会、調理師会などと協力し観光客を誘致します。	

6. 地域振興（大和）

方 針	（３）有害鳥獣対策として、「ジビエ料理」の特産化など新たな取り組みを実施します	
現状と課題	○農家の高齢化、後継者不足から耕作放棄地が増え、有害鳥獣の生息範囲が広がっています。 ○猟友会員の高齢化・会員数の減少等により狩猟による鳥獣の捕獲数が減り、有害鳥獣による農地・農産物への被害が広がっています。 ○鳥獣肉は猟業者で分け合っており、それを商品として提供することは広範囲には行われていません。 ○猟友会、観光協会、食品衛生協会、調理師会が「ジビエ先進地視察研修」を行い、鳥獣肉の利活用を推進する新たな取り組みが共同で行われています。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①農家を有害鳥獣から守ります	
	電気柵やワイヤーメッシュ等の防除柵の設置助成や、猟友会の協力のもと有害鳥獣の捕獲を行うなどの対策を一層推進します。	振興課 林務課 農務水産課
	狩猟免許取得助成制度の周知や狩猟免許講習会への積極的な参加の呼びかけを通じて、新たな猟友会員の確保を図ります。	振興課 林務課
	②獣肉の利活用を進めます	
	狩猟や有害鳥獣駆除で捕獲した獣肉の利活用を進めます。	振興課 林務課 農務水産課
	獣肉を「ジビエ料理」として提供し、特産化を図ります。	振興課 商工課 農務水産課 観光課
	獣肉利活用のための解体処理施設（冷凍冷蔵庫等を含む）整備への支援を行います。	振興課 林務課 農務水産課
協働で取り組む事項	○市、猟友会、観光協会、食品衛生協会、調理師会などとともに、獣肉利活用推進協議会を立ち上げ獣肉の利活用を進めます。	

6. 地域振興（大和）

方 針	（４）第三セクターと連携した地域振興を進めます	
現状と課題	○第三セクター郡上大和総合開発株式会社は、開発型ぎふ大和インターチェンジの建設費用を負担するために設置された会社です。	
	○第三セクターとの連携により若者や女性、高齢者の雇用を創出しています。	
	○「古今伝授の里づくり」から得た芸術家などの人材、デザイン、経営ノウハウなどがあります。	
	○指定管理を受けている４施設は、経年劣化により一部修繕が必要です。	
	○年間 100 万人の入込客の多くが、第三セクターによってもたらされています。	
	○高速交通網を活かした販路拡大が必要です。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①第三セクターと連携し、地域振興を行います	
	第三セクターとの連携で培ったノウハウを活かし、雇用の拡大や需要を生み出し地域振興に繋がります。	振興課 商工課
	第三セクターと連携し、地域の文化活動と経済活動を推進します。	振興課 地域教育課 フィールド・ミュージアム
	②施設の修繕を進め、魅力をより高めます	
	施設のリニューアル計画を作成し、新たな魅力づくりを支援します。	振興課 観光課
	③高速交通網を活かした販路拡大を進めます	
	ぎふ大和 P A を活かした販路拡大を支援します。	振興課 商工課
	サービス業から、製造業や農林業などの産業分野へ効果が波及できるよう仕組みづくりを進めます。	振興課 商工課
	若者の雇用創出を進めます。	振興課 商工課
協働で取り組む事項	○市、第三セクター、地域が連携し、魅力ある地域づくりを進めます。	
	○新たな雇用の場づくりを進めます。	

6. 地域振興（白鳥）

個性あふれる地域づくりを推進するまち

方 針	（１）白山文化を活かした地域づくりを推進します	
現状と課題	○美濃禅定道は名勝や天然記念物、四季の変化に富んだ魅力ある自然が豊富ですが、知名度が低いことが課題です。	
	○東海地方を中心に白山信仰の布教に努めた白山御師の集落を保全して、地域の資源として活用する必要があります。	
	○伝統文化の保存・継承は地域の住民によって担われていますが、地域の人口減少や少子高齢化が進んでおり、保存活動や後継者の育成が急務となっています。	
	○食生活の欧米化や高齢化による後継者不足等が原因で、古くから受け継がれる伝統的な農産物や加工技術が損なわれつつあります。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①美濃禅定道と周辺の文化財を保全し、活用します	
	美濃禅定道のトレッキングや民俗芸能などが体験できるメニューを整備します。	地域教育課 社会教育課 振興課 林務課
	阿弥陀ヶ滝等の豊富な白山の水や石徹白大杉など地域資源を活かした地域づくりに取り組みます。	振興課 地域教育課 社会教育課
	②歴史や地域資源を活かした地域づくりに取り組みます	
	石徹白地域・長滝地域の歴史的建造物と、それらが生み出す歴史的文化的景観を活かした地域づくりに取り組みます。	振興課 地域教育課 社会教育課
	梅や柿などの加工・販売に加え、地域の農産物等を加工して価値を高め、新たな特産品として販売できるよう支援します。	振興課 農務水産課
	③無形民俗文化財の保存・継承の支援を行います	
	「長滝の延年」、「白鳥おどり」等の伝統文化の継承と交流の機会を広げます。	地域教育課 社会教育課 振興課
	後継者育成に関する支援を行います。	地域教育課 社会教育課 振興課
	④食の白山文化を創出します	
	地域伝統の農産物を活かした特産品開発など「食の白山文化」を創出します。	地域教育課 社会教育課 振興課 農務水産課
協働で取り組む事項	○住民とともに文化財等の保護や体験メニューづくり、指導者の確保に取り組みます。	
	○地域伝統の農産物を活かした特産品づくりと販路の開拓を進めます。	

6. 地域振興（白鳥）

方 針	（２）奥美濃カレーなど地域の観光資源を活かした産業を振興します	
現状と課題	○白鳥町を訪れる観光客が滞在型から通過型に変化し、観光による収入が減少しています。	
	○観光客が滞在していただけるように、魅力アップに努める必要があります。	
	○旬の取れたて野菜や郡上市の加工食品の郡上味噌・醤油など、地域の特産物をよりＰＲする必要があります。	
	○昔から伝承されている田舎味噌である郡上産の味噌を入れた奥美濃カレーを、よりＰＲする必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①観光ＰＲを強化します	
	道の駅、特産物振興センターを観光ＰＲの中心施設とし、白鳥観光協会と連携して特産物や観光情報をホームページ等でＰＲします。	振興課 観光課 農務水産課
	ご当地カレーとして、奥美濃カレーの宣伝活動を積極的に実施します。	振興課 観光課 商工課
	②魅力ある観光地づくりを推進します	
	高速道路を利用し訪れる観光客等に白鳥町を散策できる周遊ルートパンフレットを作成し、提供します。	振興課 観光課
	観光地案内人を育成します。	地域教育課 観光課 社会教育課 振興課
	高速自動車道を活用した地域の農産物、特産品販売による地域産業の活性化、雇用の場の創出、地域情報発信の場づくりを研究します。	都市住宅課 振興課 観光課 商工課
協働で取り組む事項	農業体験等を組み込んだ農家民宿への参加者を開拓し、新たな観光メニューを創設します。	振興課 観光課 農務水産課
	○白鳥町を知っていただくため、各方面に向けて特産品の紹介や観光地ＰＲを観光協会と協働で行います。	
	○地元農家と協働して、観光客（消費者）に対する特産物の提供を推進します。	

6. 地域振興（白鳥）

方 針	（３）市民に親しみやすく、活気のある商店街づくりを推進します	
現状と課題	○少子化・高齢化の進行により空き店舗や空き家が目立ち、活気が失われてきています。	
	○空き家施設を活用するなど、市街地の活性化対策が必要です。	
	○大型量販店の地方進出、都市への消費者流出等の傾向が見られ、多様化する消費者ニーズに対応する新たな商店街づくりに取り組む必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①空き店舗・空き家の活用を進めます	
	商店街発展会による各種イベント開催を支援し、商店街の活性化を図ります。	振興課 商工課
	空き家・空き店舗の早期登録を進め、移住希望者に対する生活相談や物件の案内を実施します。	振興課 商工課
	空き店舗を気軽に立寄れる憩いの場（コミュニティセンター）として活用し、市街地の環境整備を推進します。	振興課 都市住宅課
協働で取り組む事項	○商店街の活性化として、現在も開催している「ど真ん中市」などを継続し、今後に向けて商店街が中心となり、イベントを盛り上げていきます。	
	○高齢化が進展する中、商店街のサービス提供として、発展会とともに商店街のあり方を検討していきます。	

6. 地域振興（白鳥）

方 針	（４）トレッキングやウィンタースポーツなどのスポーツを振興し、地域の活性化を図ります	
現状と課題	○当地域には合併記念公園をはじめ多様なスポーツ施設群があり、市内外から多くの利用があります。	
	○体育協会加盟クラブ等各団体を中心に、スポーツ・レクリエーション活動が活発に行われています。	
	○各種大会等で市外から訪れるスポーツ施設利用者を、地域の消費拡大に結び付ける必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策	
	基本計画事業	
	①地域性を活かしたスポーツを普及します	
	山を歩くトレッキングや、雪国の特徴を活かしたウィンタースポーツ等の普及を図ります。	地域教育課 スポーツ振興課 振興課 観光課
	②スポーツ・レクリエーション施設の有効活用を図ります	
	各種スポーツ大会の誘致を図り、施設の有効利用を促進します。	地域教育課 スポーツ振興課
協働で取り組む事項	観光協会、商工会、民宿組合等と連携して、施設利用者に魅力ある食事や宿泊を提供できるようPRします。	振興課 観光課 商工課
	○専門的な知識と技能を取得した指導者の確保・育成に努めます。	
	○利用者とともに良好な施設の維持・管理を行います。	

6. 地域振興（高鷲） 個性あふれる地域づくりを推進するまち

方 針	（１）長良川の「源流の里」としての価値を高めます	
現状と課題	○長良川の「源流の里」として、保水力の確保が重要な課題です。	
	○美しい景観を保つため、計画的な土地利用が必要です。	
	○多雨、豪雪地帯のため、災害の危険がある箇所が存在します。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①自然環境の保全を重点課題として取り組みます	
	山林所有者や土地開発業者に対し、山林の保水力を損なわないために伐採等を計画的に進めるよう指導・助言を行います。	振興課 林務課
	住民と協働で産業廃棄物等の不法投棄を監視し、環境保全に努めます。	振興課 環境課
	林業従事者の育成に努めます。	振興課 林務課
	②災害の防止に努めます	
	治山・治水事業を推進し、災害の未然防止に努めます。	振興課 建設工務課 林務課
	土砂災害危険区域指定箇所を対象に、災害防止に努めます。	振興課 建設工務課
	③美しい景観を維持します	
	遊休農地の解消に向けて、農業従事者と協働し計画的な土地利用を推進します。	振興課 林務課 農務水産課
協働で取り組む事項	○山林所有者や土地開発業者とともに、山林の保水力維持に努めます。	
	○住民と協力し、不法投棄の監視を行います。	

6. 地域振興（高鷲）

方 針	（２）農畜産品のブランド化や農林業体験イベントの企画などにより、農林業の振興を図ります	
現状と課題	○冬季だけでなく、通年の安定した雇用環境整備が望まれています。	
	○農産物の加工品等の価値を高め、ブランド化を目指す必要があります。	
	○農畜産業における加工品の販売を促進するため、観光施設との連携を強化する必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①農林業の重要性を内外にアピールします	
	農林業体験イベントを企画し、その重要性をアピールします。	振興課 農務水産課 林務課
	農畜産物加工品などを宣伝することで、魅力ある職業の一つとしてアピールします。	振興課 農務水産課 畜産課
	②新しい担い手を育成します	
	安定した所得を確保できるよう、農業経営を支援します。	振興課 農務水産課
	就農希望者への支援事業を行います。	振興課 農務水産課
	③農畜産業の加工品等のブランド化を進めます	
	加工品における高鷲の独自性を強調し、ブランドとして価値を高めます。	振興課 農務水産課 畜産課 商工課 観光課
	④農畜産物の加工品等の販売を促進します	
	地域内外での消費・販売を強化するため、観光産業施設との連携を図ります。	振興課 農務水産課 畜産課 商工課 観光課
協働で取り組む事項	○農業従事者からの農業体験ができる農地の提供を受け、協働で取り組みます。	
	○農業従事者、観光産業従事者と協働でブランド化を推し進めます。	

6. 地域振興（高鷲）

方 針	（３）観光モデルコースの確立など、地域の資源や特性を活かした観光振興を図ります	
現状と課題	○観光施設間の移動所要時間の表示が明確でないため、観光客が周遊計画を立てにくい状況です。 ○郡上市内の他地域を絡めた周遊ルートの紹介が十分行われていません。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①シーズン毎の周遊ルート（観光モデルコース）を確立します	
	国道１５６号、高鷲 IC、ひるがの高原 SA スマート IC を起点、終点とする観光モデルコースを作成します。	振興課 観光課
	宿泊施設、飲食店、温泉等の情報も絡めながら、ジャンル別（温泉巡りツアーなど）コースを作成しアピールしていきます。	振興課 観光課
	②地域の施設や特性を活かして、合宿の誘致を進めます	
	高校生や大学生などを対象に、スポーツ合宿や音楽合宿などの誘致を進めます。	振興課 観光課
協働で取り組む事項	○宿泊施設、飲食店、及び周辺住民との協働によりマップを作成します。	

6. 地域振興（美並）

個性あふれる地域づくりを推進するまち

方 針	(1) 「円空のふるさと」の情報発信と文化の創造を目指します	
現状と課題	○美並町に残る円空の文化を守り、次の世代へ継承する必要があります。 ○美並ふるさと館、円空研究センターの入場者数が減少しています。 ○円空（高賀山信仰）をアピールする必要があります。 ○体験型のイベントを通して、円空の心にもふれる機会を創設することが必要です。 ○円空の文化を守り、新しい文化の振興を進める必要があります。 ○市民に親しみやすく、参加しやすい「円空のふるさと」づくりの新たな取り組みが求められています。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①円空（高賀山信仰）に対する理解を深めます	
	円空に関する学術研究を進めます。	振興課 地域教育課 社会教育課
	郡上学と一貫した学びの機会を充実します。	振興課 地域教育課 社会教育課
	②円空関連施設を利用した情報を発信します	
	円空彫り教室、木地師体験など、体験型のイベントを実施します。	振興課 地域教育課 社会教育課
	円空の修行場所を周遊コースとして整備します。	振興課 地域教育課 社会教育課 観光課
	美並ふるさと館を利用した円空イベントを開催します。	振興課 地域教育課 社会教育課
	③新しい文化活動等の充実に努めます	
	円空彫りをテーマとした彫刻祭を開催します。	地域教育課 社会教育課
	円空を背景にした芸術イベントを開催します。	地域教育課 社会教育課
	円空関連特産品開発に取り組みます。	振興課 農務水産課 商工課
協働で取り組む事項	○学識者、円空同心会、関係自治会と案内人活動を推進します。 ○市民団体とともにイベントの開催に取り組みます。	

6. 地域振興（美並）

方 針	（２）長良川の恵みを活かしたレジャー環境づくりを進めます	
現状と課題	○長良川は鮎漁のメッカであるとともに、リバースポーツのメッカでもあります。	
	○豊かな自然の恵みを守るため、環境を保全していく必要があります。	
	○長良川の恵みを案内する機能が不足しています。	
	○伝統的な漁法を守り、伝承する必要があります。	
	○体験交流型施設（ハングロ村・フォレストパーク373）の利用が夏季に偏っています。	
	○長良川を利活用する団体の意識高揚（共存・共栄）が必要です。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①長良川の情報提供機能の充実と環境保全を図ります	
	道の駅や総合案内所等を活用しながら、長良川レジャースポットの情報提供機能の整備を進めます。	振興課 観光課
	長良川遊びガイドマップの作成を進めます。	振興課 観光課
	河川環境の保全に努めます。	振興課 環境課
	②体験交流型施設の活用を図ります	
	大学等サークルの合宿受け入れや音楽イベント等の実施により、閑散期における施設の利用を促進します。	振興課 観光課
	施設利用者と地域住民が交流できる機会をつくります。	振興課 観光課
	③長良川に伝わる伝統の継承に努めます	
	ヤナ漁、投網漁、友釣り等伝統漁法の継承を進めます。	振興課 観光課 農務水産課 地域教育課 社会教育課
	体験教室等により、若年層に鮎釣を普及します。	振興課 観光課 農務水産課
協働で取り組む事項	○河川景観保持のための地域住民参加による清掃活動等を推進します。	
	○長良川にまつわる言い伝えなどの情報提供を依頼し、ガイドマップ作成等に活用します。	

6. 地域振興（美並）

方 針	（３）第三セクター・農業法人等と連携し、産業を振興します	
現状と課題	○美並町の第三セクターは物販中心の経営形態になっています。	
	○複数の第三セクターが連携した経営が必要とされています。	
	○地域の特色を活かした新しい特産品の開発が必要です。	
	○農業法人の活性化が求められています。	
	○農林水産物を活用した商品等の生産体制の強化が必要です。	
	○生産体制強化のためには、有害鳥獣対策が課題となっています。	
施 策 及び 基本計画 事 業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①第三セクターの経営基盤の強化を図ります	
	第三セクターとの連携により、サービス提供中心の事業形態から商品の生産・製造へ向けた事業展開を進めます。	振興課 商工課
	第三セクターを中心に、民間企業と連携した産業振興を進めます。	振興課 商工課
	②特産品開発に向けた基盤を整備します	
	特産品となる新しい農林産品の開発を支援します。	振興課 商工課 農務水産課 林務課
	獣害防止柵の設置助成や有害鳥獣の捕獲等の対策を強化し、農林業環境の向上を図ります。	振興課 林務課
	若年者が農業・林業に従事できる環境を整備します。	振興課 農務水産課 林務課
	③農産物等の生産意欲の向上を図ります	
協働で取り組む事項	鳥獣被害の少ない作物の調査・研究に取り組みます。	振興課 農務水産課
	農業法人や地域の連携により、耕作放棄地の解消と農産物等の生産体制の強化を図ります。	振興課 農務水産課
協働で取り組む事項	○農業法人、民間企業、各種団体等と連携して産業振興に取り組みます。	
	○高齢者のノウハウを活かしたヒトづくり・モノづくりを行います。	

6. 地域振興（明宝） 個性あふれる地域づくりを推進するまち

方 針	(1) もくもく市場の開設など、里山資源を守り有効に活用します		
現状と課題	○国産材の市況の低迷と諸経費の高騰による林業経営意欲の低下や、林業従事者の減少と高齢化により、山林の保全が十分行えない状態にあります。 ○農業に常時従事する人の減少や耕作放棄地の増加と、有害鳥獣による農作物への被害が深刻化しています。 ○里山の暮らしで先人たちが使っていた道具を数多く所蔵する、明宝歴史民俗資料館など里山の文化資源を活用し、内外に情報発信していく必要があります。		
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業		担当課
	①山林の保全と資源の活用を進めます		
	間伐材を有効利用するシステムづくりを進めます。		振興課 林務課
	山林境界の明確化など地域の主体的な取り組みを支援するとともに、山林への関心を高めて山離れ防止や山林保全を推進します。		振興課 林務課
	②農地の保全と活用を進めます		
	集落で、地域の田畑全体を守るという共通意識を持った獣害対策の取り組みを推進します。		振興課 農務水産課 林務課
	農林業に携わるU・Iターン者の定住に繋がる取り組みを推進します。		振興課 農務水産課 林務課
	③里山の文化の発信を行います		
	里山文化の発信を行う団体等の活動を支援します。		振興課
	里山文化の発信の場として、明宝歴史民俗資料館を活用していきます。		地域教育課 社会教育課
協働で取り組む事項	○里山での生活に関心を持つ若者や都市住民、各種団体と地域住民、行政が協働して里山資源を有効に活用したシステムづくりを行います。		

6. 地域振興（明宝）

方 針	（２）買物支援など、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進します	
現状と課題	○地域内には公共交通機関や公共施設、商店が少ないため、高齢者世帯が増加する中で、日常生活において不便で不安感の多い生活が予測されます。 ○既存の公共交通機関の維持存続とともに、高齢者等への支援を講ずる必要があります。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	
	①地域が一体となった高齢者支援の仕組みづくりを進めます	
	情報通信を活用した買物支援など、地域が一体となって高齢者等の生活支援に取り組みます。 N P O 法人等による高齢者や社会的弱者に対する活動を支援します。	振興課 情報課 高齢福祉課 社会福祉課 振興課 社会福祉課 高齢福祉課
協働で取り組む事項	○N P O 法人や地元商店、地域住民との協働による、安否確認や雪対策、交通支援や買物支援、外出支援による高齢者等支援の仕組みづくりを行います。	

6. 地域振興（明宝）

方 針	（３）地域団体等を支援し、地域資源を活用した新たな振興事業を推進します	
現状と課題	○景気の低迷により就労場所が少なく、若者の都会への流出が続いています。地域の特色を活かした起業が必要です。	
	○新たな魅力の発掘・発信のポイントとして、より多くの市民等が参加できる仕組みづくりが必要です。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	
	①地域の新たな魅力の発掘・発信を行います	
	地域づくりに取り組む団体等が交流できる機会をつくれます。	振興課
	地域で活動する団体やＮＰＯ法人と第三セクターとの連携により、地域の特色を活かした起業等を支援します。	振興課 商工課
	②多くの市民等が参画する地域づくり活動を推進します	
	地域づくりに取り組む団体等の活動をサポートするため、市民の参加を促進します。	振興課
協働で取り組む事項	○住民主導により活動する団体やＮＰＯ法人と第三セクターとの協働により、地域の新たな魅力を発掘・発信し、新たな起業ができる仕組みづくりや仕掛けを進めます。	

6. 地域振興（和良）

個性あふれる地域づくりを推進するまち

方 針	（１）「日本一の和良鮎」のブランド化を進めます	
現状と課題	○和良川で捕れる和良鮎は「清流めぐり利き鮎会」において２度の日本一に輝くなど、高い評価を受けています。	
	○和良鮎の漁獲量が減少しています。	
	○漁業組合員や町外からの入漁者が減少しています。	
	○川に親しみやすい環境づくりが求められています。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①和良鮎の漁獲量の増加を図ります	
	漁協と連携して鮎の生態や先進地の取り組みを研究し、漁獲量の増加を図ります。	振興課、 農務水産課 地域教育課、
	町外からの入漁者へ積極的な情報発信を行います。	振興課 農務水産課 観光課
	入漁者が河川に入川しやすくなるよう、河岸の環境整備を行います。	振興課
	②和良鮎とオオサンショウウオのＰＲを行います	
	市内外に向けて積極的な情報発信を行います。	振興課、 観光課
	鮎祭り等、地域イベントにおいて効果的なＰＲができるよう年間を通じたイベント計画を立案します。	振興課 地域教育課
	和良鮎が地域内の飲食店へ優先的に入荷され、鮎料理が提供しやすくなるよう取り組みます。	振興課 農務水産課 商工課
	オオサンショウウオの観察会など、自然に親しむ機会をつくります。	振興課 地域教育課 社会教育課
協働で取り組む事項	○河川環境の保全を図るため、漁協組合員や地域住民と協働して河川清掃・草刈り等を行います。	
	○漁協組合員等と協働し、地域の飲食店が安定した鮎料理の提供を行える体制をつくります。	
	○ボランティアや各種団体等と協働してイベントを実施します。	
	○河川や生物に詳しい市民の協力を得てオオサンショウウオの観察会等を実施します。	

6. 地域振興（和良）

方 針	（２）安全で住み良い地域をつくります	
現状と課題	○過疎化により防災・防犯面での不安が増大しています。 ○地域防災拠点となる施設の機能が不足しています。 ○山林の荒廃による災害発生の危険が増加しています。 ○農地の荒廃を起因とする獣害の多発、住環境の悪化が問題となっています。 ○耕作放棄地の増加が懸念されています。	
施策 及び 基本計画 事業	施 策 基本計画事業	担当課
	①災害対応体制を充実します	
	消防団災害等支援団員の確保と住民の防災意識向上を図ります。	振興課 消防課 総務課
	防災拠点となる施設を整備します。	振興課 財務課
	②山林、農地の保全を図ります	
	定年退職者等を担い手として、山林や農地の保全を図ります。	振興課 林務課 農務水産課
協働で取り 組む事項	中山間地域等直接支払い制度など各種制度を活用し、集落単位での農地の保全を図ります。	振興課 林務課 農務水産課
	○土砂災害を防ぐため、地域住民の協力を得て谷間に放置してある支障木や堆積している土砂の除去を行います。 ○財産区管理会での区有林保全活動等により、水源かん養機能の保全を推進します。	

6. 地域振興（和良）

方 針	（３）若者が定住できる地域をつくります	
現状と課題	○高校卒業後、市外に就職等をするため地域を離れる者が多くなっています。	
	○核家族化により、小学生等が下校した後の子育てに不安を持つ家庭が増えています。	
	○地域内の空き家が増加していますが、詳細な情報が少なく賃貸可能な住宅についての問い合わせがあっても対応ができないことがあります。	
施 策 及び 基本計画 事 業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①就職支援を充実します	
	求人情報、求職情報を収集、提供する体制を整備します。	振興課 商工課
	新しい産業創出の可能性を探るため、民間や大学など外部の意見を取り入れる機会をつくります。	振興課 商工課
	②子育て世代の負担軽減を図ります	
	NPO法人、保育士・教員のOB、シニア世代による子育て支援活動や、放課後児童クラブの立ち上げを支援します。	振興課 児童家庭課 地域教育課 学校教育課
	③住宅情報の提供に努めます	
	賃貸可能な空き家について、登録制などにより情報を収集して問い合わせに即応できる体制を整備します。	振興課 商工課
協働で取り 組む事項	○保育士や教員のOB等とともに、放課後児童クラブの活動を推進します。	
	○空き家情報の充実を図ります。	

6. 地域振興（和良）

方 針	（４）自主運行バスの整備など、高齢者にやさしい地域をつくります	
現状と課題	○自家用車を持たない高齢者にとっては、通院や買い物等が不便な状況にあります。	
	○一人暮らしの高齢者の増加に加えて、人口減少により近隣住民と接する機会が少なくなっていることから、孤独死が発生することが懸念されます。	
	○高齢となっても生き生きとした暮らしが営めるような環境づくりが必要です。	
	○高齢者の経験、技能を活かせるような体制づくりが必要です。	
施 策 及び 基本計画 事業	施 策	担当課
	基本計画事業	
	①高齢者の交通手段の確保に努めます	
	利用しやすい自主運行バスの運行体制をつくります。	振興課
	②見守り活動を推進します	
	地域住民に対して高齢者の見守りに関する啓発を行うとともに、自治会やシニアクラブ等と連携して見守り活動を推進します。	振興課 総務課 高齢福祉課
	③高齢者の生きがいづくりを推進します	
	経験を活かしたボランティア活動が行えるよう、情報提供や体制整備を行います。	振興課 高齢福祉課 地域教育課 社会教育課
協働で取り 組む事項	○自治会、地域住民とともに、見守り活動や支援活動を充実します。	
	○高齢者の生きがいづくりに寄与するような公民館活動を推進します。	
	○買い物代行等の支援が行えるよう、ボランティアや地域住民による組織の育成を目指します。	

